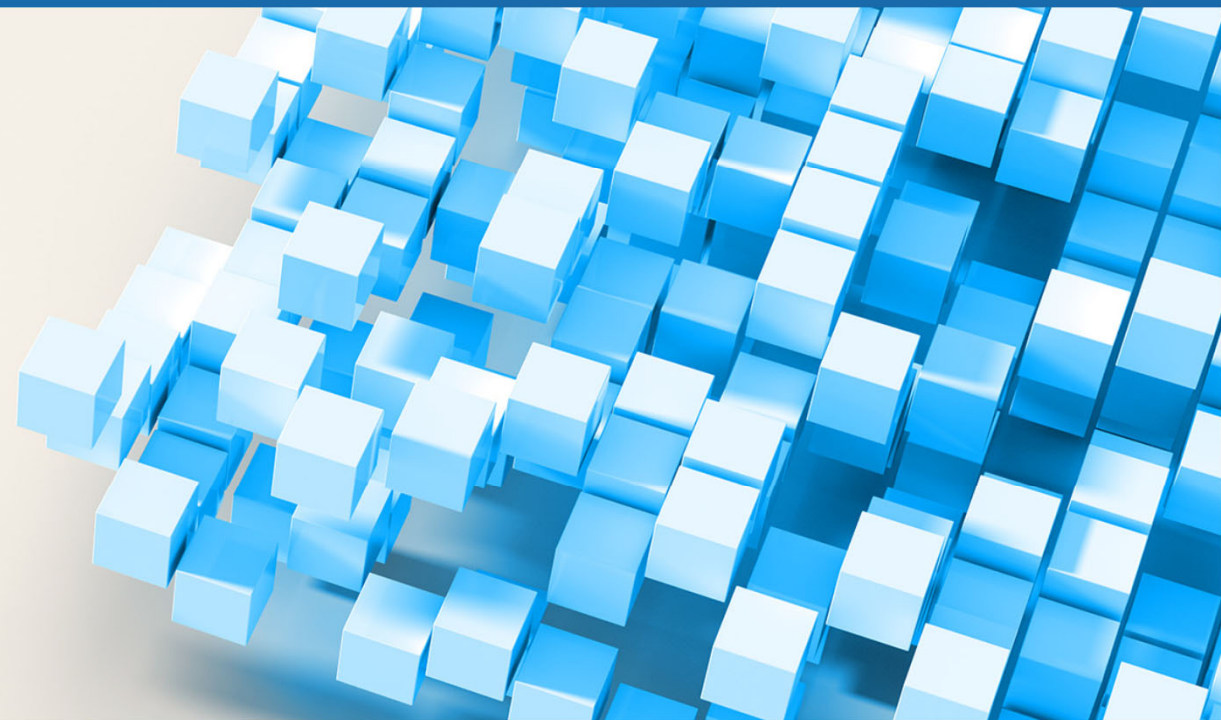


2021年3月期 決算説明資料

2021年5月14日

FOR QUALITY CONFIDENCE



1. エグゼクティブサマリ	P.3
2. 2021年3月期 決算概況	P.6
3. 2022年3月期 業績見通し	P.20
4. ソフトウェア事業環境	P.24
5. 今後の成長戦略	P.28
6. 2021年3月期決算補足	P.35

コロナの影響を受けつつも、増収増益を達成

2021年3月期
決算概要

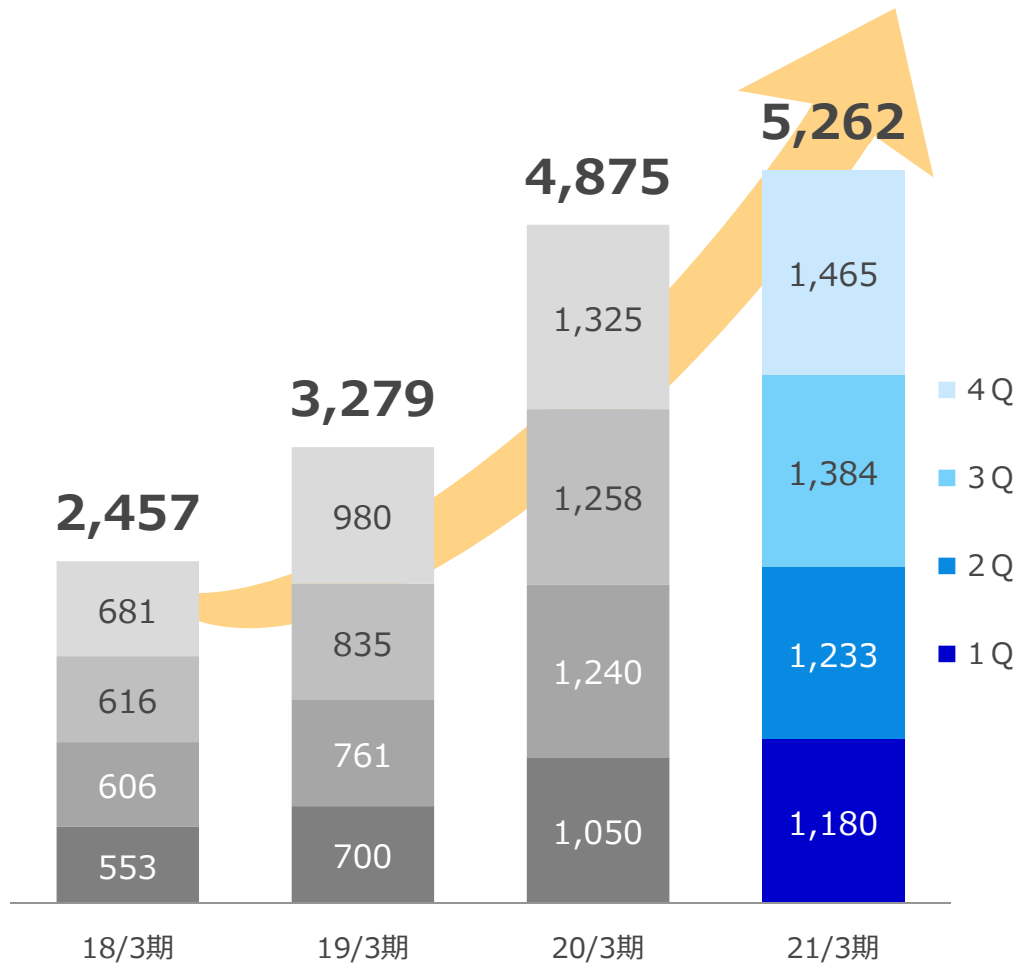
	売上高	営業利益	当期純利益
	52.6億円	3.44億円	2.46億円
対前期比	+7.9%	+7.2%	+10.0%
稼働エンジニア数 <small>※連結 協力会社含む</small>		775名 (前年同期比 +90名)	

2021年3月期
第4四半期の
トピックス

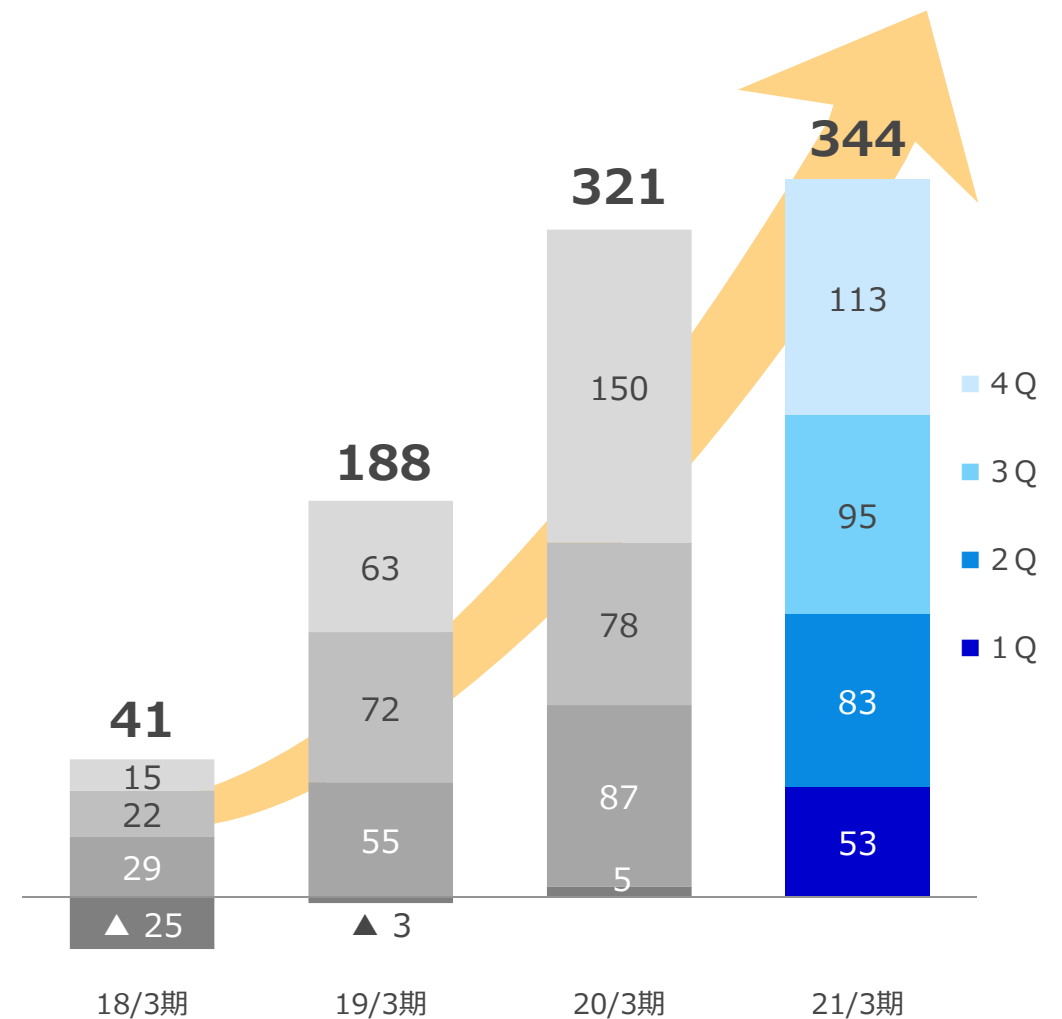
- ・正社員稼働エンジニア増加数が堅調に推移
- ・ソフトウェアテストサービス事業の1人当たり売上高が約5%向上（64.9万→68.3万）
- ・テストケースを最短0日で納品するサービス「クイックテスト設計」に新プラン追加
- ・アジャイル開発における品質向上支援サービスの提供開始
- ・AIシステムの品質向上支援サービス「AI Quality」の提供開始予定を発表
- ・テストケース生成ツール「Qumias Plus」の提供開始
- ・産学提携プロジェクトによる共同研究論文を発表
- ・大手金融機関をはじめとする導入事例インタビューを4件公開
- ・「Referral Recruiting Award 2020」で優秀企業賞を受賞

ソフトウェアテストサービス事業を中心に増収増益

売上高 (単位：百万円)



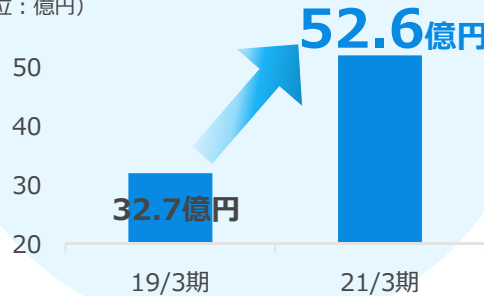
営業利益 (単位：百万円)



サービス

売上高
2年間で160%増収

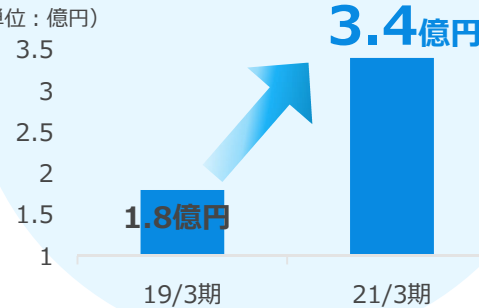
(単位：億円)



サービス

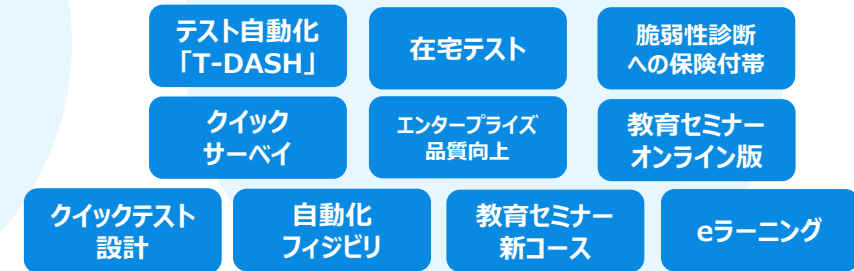
営業利益
2年間で183%増益

(単位：億円)



サービス

2021年3月期だけで
10個の新サービスを展開



サービス

ソフトウェアテストサービス事業
エンジニア1人当たり売上高の推移
前期比5.2%UP、過去最高

(単位：万円)



サービス

ソフトウェアテスト事業案件数
過去最高、2年間で40%UP

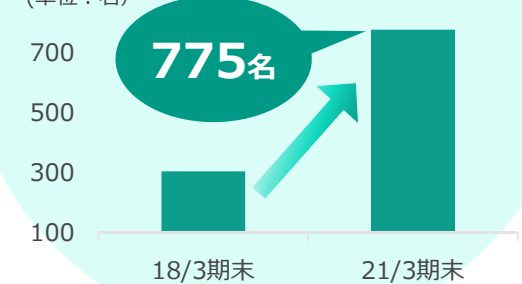
(単位：件)



人材

稼働エンジニア数
750名を突破

(単位：名)



2021年3月期決算概況



売上高は7.9%増収、増収となったことに伴い各段階利益も増益

(単位：百万円)

	2020/3期		2021/3期	
	前期実績	実績	前期比	
売上高	4,875	5,262	+7.9%	
売上総利益	1,342	1,432	+6.7%	
売上比	27.5%	27.2%	▲0.3pt	
販管費	1,020	1,087	+6.6%	
営業利益	321	344	+7.2%	
売上比	6.6%	6.6%	+0.0pt	
経常利益	323	347	+7.6%	
売上比	6.6%	6.6%	+0.0pt	
当期純利益	224	246	+10.0%	
売上比	4.6%	4.7%	+0.1pt	
EPS※	33.25	35.65	+7.2%	

※1株当たり当期純利益（当期純利益÷期中平均株式数）

(単位：百万円)

	2021/3期		
	直近予想 (8月12日発表)	実績	直近予想比
売上高	5,632	5,262	▲6.6%
営業利益	428	344	▲19.6%
売上比	7.6%	6.6%	▲1.0pt
経常利益	432	347	▲19.6%
売上比	7.7%	6.6%	▲1.1pt
当期純利益	287	246	▲14.2%
売上比	5.1%	4.7%	▲0.4pt

売上高

コロナの影響によりIT投資が抑制される業種・取引先が発生。また、開発案件が動かず、予想よりもプロジェクトが遅延し、ビジネスパートナーを積極的に活用するまでに至らず、4Qの伸びも想定を下回った結果、売上は予想から6.6%減の52.6億円となる。

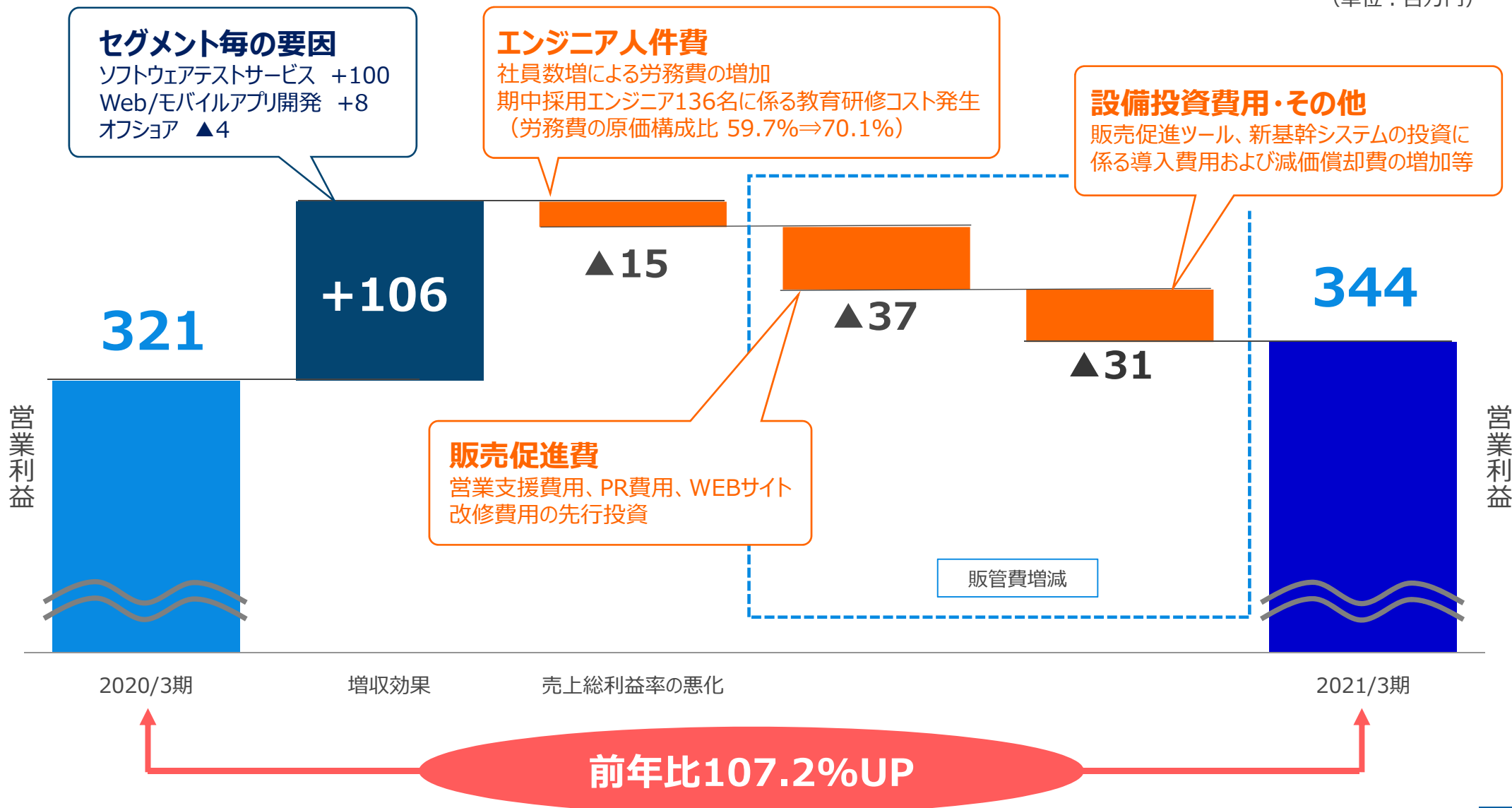
営業利益～当期純利益

想定よりも売上が伸びなかったことや、正社員増加に伴う労務費の増加（教育研修コスト含む）をカバーするのに時間を要したことにより各利益率は2020年3月期と同水準となる。

しかし、コロナ禍においても幅広い業種に対応している強みを活かし、**前期比では増収増益を達成**

売上高387百万円増収により、営業利益は**+23百万円の増益**に

(単位：百万円)



ソフトウェアテストサービス事業セグメントが堅調に推移し**増収増益**

(単位：百万円)

		2020/3期	2021/3期	
		前期実績	実績	前期比
ソフトウェアテスト サービス事業	売上高	4,435	4,805	+8.3%
	営業利益	333	362	+8.7%
	利益率	7.5%	7.5%	+0.0pt
	エンジニア数(人)	387人	460人	+73人
	エンジニア1人当たりの売上高(千円)	649千円	683千円	+33千円
Web/モバイルアプリ開発 サービス事業	売上高	463	545	+17.6%
	営業利益	63	49	▲21.6%
	利益率	13.6%	9.1%	▲4.5pt
オフショアサービス事業	売上高	51	60	+16.3%
	営業利益	▲9	11	—
	利益率	-	18.6%	—
セグメント間取引消去 及び全社費用	売上高	▲75	▲149	—
	営業利益	▲65	▲78	—
連結	売上高	4,875	5,262	+7.9%
	営業利益	321	344	+7.2%
	利益率	6.6%	6.6%	+0.0pt

※エンジニア1人当たりの売上高は、ソフトウェアテストセグメントの売上高を稼働エンジニア数（ビジネスパートナー含む）で除して算出した月間売上高。

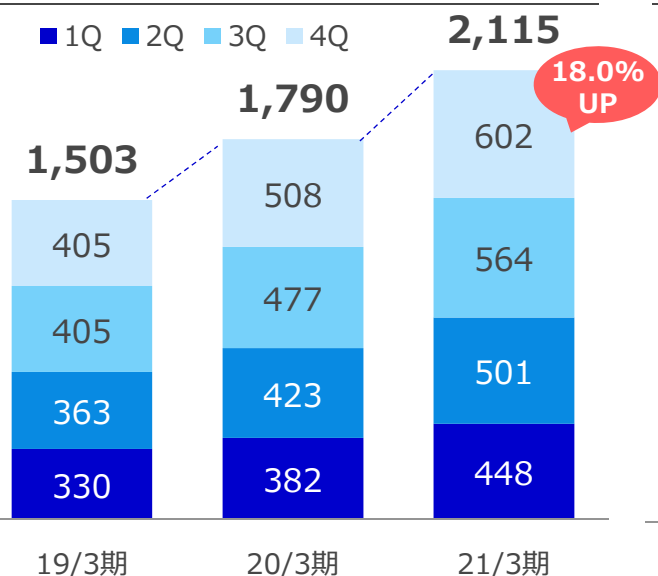
案件数や正社員稼働エンジニア数など、各指標、堅調に推移

案件数の推移

(単位：件)

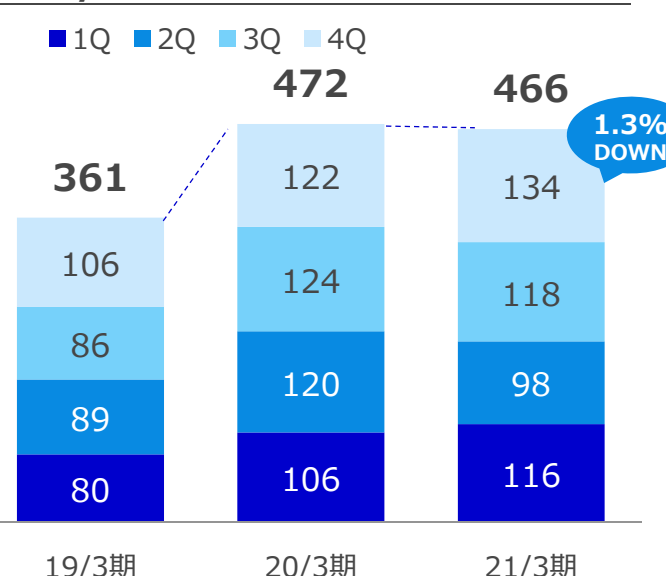
ソフトウェアテストサービス事業

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



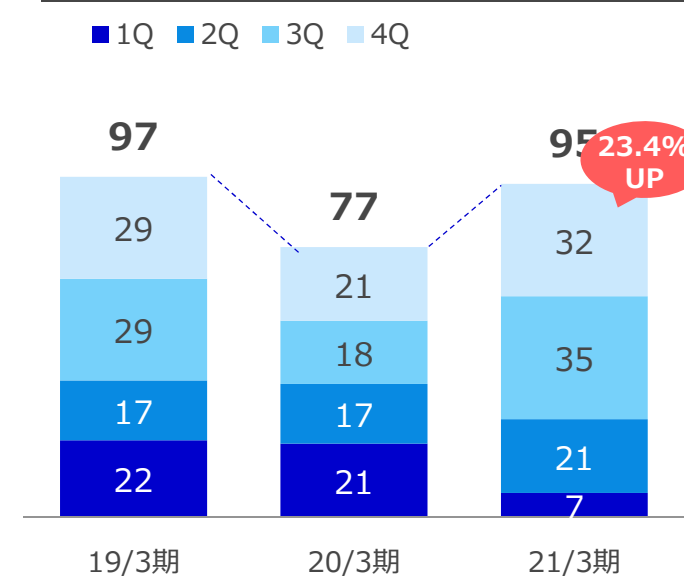
Web/モバイルアプリ開発サービス事業

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



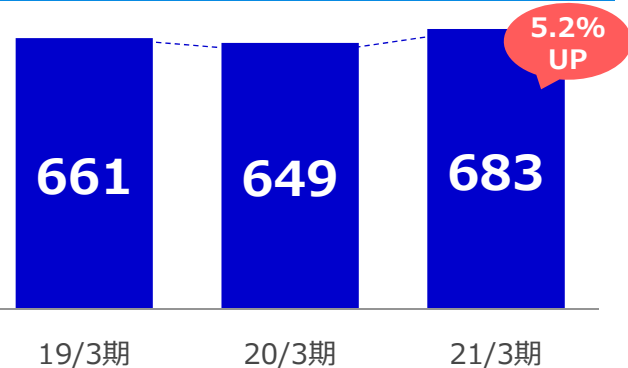
オフショアサービス事業

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



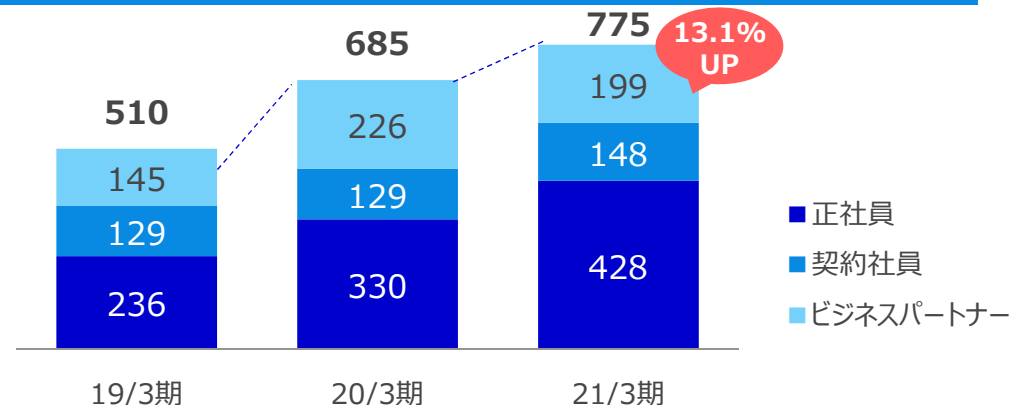
ソフトウェアテストサービス事業 エンジニア1人当たり売上高の推移

(単位：千円)



稼働エンジニア数の推移 (連結)

(単位：名)



ソフトウェアテストサービス事業

- 正社員の積極採用を継続しており、正社員は前期比で約130%増加
- 案件数は前期比約120%増加（約1,800件→約2,100件）で過去最高を達成
- エンジニア1名あたりの単価も約5%上昇し68.3万と過去最高
- 上記3点が寄与し、売上・営業利益ともに過去最高を達成

Web/モバイルアプリ開発サービス事業

- セキュリティ・脆弱性診断サービスが売上・利益ともに貢献
- 3Qよりアール・エス・アール社を連結開始
- 一部の請負開発案件にて採算が悪化したことなどにより営業利益は減益
- 「Qbook」や「Qumias Plus」などの新規技術開発である販促ツールの内製に寄与

オフショアサービス事業

- フィリピンでは2020年3月からコロナによるロックダウンが継続しているものの、2020年8月よりテレワーク環境を整え、バルテスを窓口とした日本企業との取引を拡大
- 3Q4Qで安定した売上と利益を確保し、前期比で増収増益
- 結果、前期9百万円の営業損失から、11百万円の営業利益へ黒字転換を果たす

ソフトウェア開発における課題解決に向けた新たなサービスの拡充

ローコード/ノーコード開発向け「クイックテスト設計サービス」の提供

クイックテスト設計

プロが使う標準テストケースを用いて速く・リーズナブルにテスト設計

最短 **0** 日納品!

提供背景

- **ワークフローシステムの刷新が加速**
 - ・リモートワークの増加がDXを加速させ、古くなったワークフローシステムの刷新に着手する企業が増加
- **ノンエンジニアによる開発の増加**
 - ・ノンエンジニア（エンジニアではない人）でもシステムを構築することが可能なローコード/ノーコード開発が注目される一方、テストが軽視されがちに



プロ作成のテスト項目を最短即日で提供し対象システムの品質改善をスピーディーにサポート！

テスト粒度に合わせたプラン選択可能		
ワークフロー ライト	ワークフロー スタンダード	ワークフロー エキスパート
37観点	62観点	77観点
UI確認 以下の基本機能を対象 <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請 ・ 承認 ・ ユーザー管理 ・ ワークフロー管理 	ライトに加えて <ul style="list-style-type: none"> ・ 並べ替え/検索 ・ 承認取り消し ・ 承認ルート変更 ・ ユーザー情報変更を含む 	異常系・準正常系を含んだすべてのテストケース

ソフトウェア開発における課題解決に向けた新たなサービスの拡充

アジャイル開発におけるテスト支援サービスの提供開始

アジャイル開発のリリース前、

「テスト」完了に

躍起になってませんか？

スピードと品質を両立する
2つのポイントとは



昨今、Webサービスの開発現場の多くで導入されているアジャイル開発。

国内でも有数のアジャイル開発規模のクライアントに対し、品質向上支援を行う当社のノウハウをサービス化。

- アジャイル開発とは
システムやソフトウェアの開発手法の1つで、短期間で設計・開発・実装・検証といった工程を繰り返しながら開発を行う方法。

「@IT」にて寄稿連載中

当社のアジャイル開発における品質管理の考え方を、大手IT系メディア、「@IT」で数回にわたり寄稿しています。

URL : <https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/2104/27/news002.html>
<https://www.atmarkit.co.jp/ait/articles/2104/27/news003.html>



AI・人工知能システムに特化したテスト設計・検証サービス 「AI Quality (アイクオリティ)」



1 AIドキュメントインスペクション

当社独自のAI対応チェックリストで
貴社ドキュメントを網羅的に確認

2 AIプロダクト対応のテスト

AI独自の観点を用いて
効率的なテストを提供!

■ 特徴

AIプロダクトの開発における上流（プロジェクト計画、要件定義、設計）から下流（結合・システム・受入テスト）まで、各工程における品質保証のサポートを実施するサービス。

AI特有の観点をフォローすることで、AIシステム導入時に起こりがちな課題を解消。当社独自のチェックリストで、検証の抜け漏れを防止する。

■ 提供開始の背景

- DXの方針により、AIシステム活用のシーンが増えることが想定されるため
- AIシステムの導入に際し課題を抱える企業が多いため

■ 日程

2021年6月1日より提供開始予定

AIプロダクト開発の上流から下流まで、各工程で品質向上をサポート

コロナ禍でも営業戦略・採用戦略を強化

営業戦略

アウトバウンド戦略

- **様々なチャネルからのアプローチが実り、四半期別で過去最高の売上・案件数**
 - ・既存から継続案件も含め、第4四半期における売上高が1,465百万円、案件数が602件と、過去最高の売上高、受注数となる
 - ・営業の業務改善を進め、コロナ禍でも商談数が前期比123.8%と増加

インバウンド戦略

- **Web問合せ獲得件数が四半期別で過去最高、リード※1獲得件数も堅調**
 - ・積極的な投資により、第4四半期のWeb問合せ件数が過去最高に。ウェビナーの回数も増加したことでリード獲得件数も堅調に増加。
 - 2022年3月期の案件獲得に向け、好感触

採用戦略

キャリア採用

- **稼働エンジニアが750名を突破**
 - ・積極的な採用でグループ全体の稼働エンジニア数が775名に。特に正社員・契約社員数が2年間で約1.6倍となる（365名→576名）
- **リファラル採用※2の取組みが評価され、「Referral Recruiting Award 2020」で優秀企業賞を受賞**
 - ・「採用活動は自分たちのため」という考え方を社内浸透させる取組みが評価され、該当賞を受賞。
 - 人材紹介だけに頼らない採用手法の基盤が整う

※1
製品やサービスに何らかの形で関心を示し、将来的に顧客になる可能性を秘めている人の中から、フォーム送信や名刺交換などで接点を持つことができた人のこと

※2
企業が自社の社員に対し、募集をかけている求人にもマッチする知人や友人を紹介してもらい採用する手法。必然的により良い会社づくりが求められる手法でもある

更なる成長・変革を求め、積極的に新規技術開発へ投資

主な新規技術開発

「T-DASH」

- ソフトウェアテストの当社独自の自動化技術
2020年5月より、提供開始

【実績】

- 自動化売上が前期比151.2%増
- “テスト自動化＝バルテス”のブランディング確立へ
- 特に金融系案件の品質向上に大きく寄与
→今期の重点顧客アプローチの武器に！

「Qbook」全面リニューアル

- ソフトウェア品質向上のためのプラットフォーム
2020年5月より、全面リニューアル

【実績】

- 有償スクールや無料特別セミナーの告知媒体として
受講者の獲得に大きく貢献
- Qbook経由の無料資料ダウンロードでリード獲得に寄与
- Qbookで獲得したリードの案件化に複数件で成功

「クイックサーベイ」

- 1ヶ月で開発プロジェクトでの課題解決策を提案
2020年5月より、提供開始

【実績】

- 大手ITコンサルレイヤーからのリプレイスに寄与
- 導入企業の約90%でテストサービスなどの
クロスセルへと繋がる
→案件拡大の大きな武器に！

その他新規サービス等

- 「在宅テストサービス」の提供開始
- 「エンタープライズ品質向上サービス」の拡大に着手
- 「ソフトウェア品質教育セミナー」のオンライン提供開始
- 「クイックテスト設計」の提供開始
- 「サイバーリスク保険付帯の脆弱性診断サービス」の
提供開始
- 「ソフトウェア品質教育セミナー」に 2つの新コースを追加
- 「テスト資格試験対策用eラーニング」の提供開始

バルテスチャレンジ

1 エンタープライズ領域の更なる強化

- エンタープライズ領域拡大のため、専門部署を立ち上げ「**エンタープライズ品質向上サービス**」の拡大に着手 (4/22リリース)
- 開発プロジェクトによる課題解決策を1ヵ月で分析・提案するサービス「**クイックサーベイ**」の提供開始 (5/12リリース)
- 日本マーケティングリサーチ機構によるブランドイメージ調査にて**3部門でNo.1**を取得 (7/29・31、8/4リリース)
- 「**サイバーリスク保険付帯の脆弱性診断サービス**」の提供開始 (東京海上日動火災保険株式会社との協業) (10/14リリース)
- セキュリティ分野に関する新事業である「**クラウド型 (SaaS 型) WAFサービス**」の開始決定 (1/26リリース)

2 優秀な人材の確保

- 「**ソフトウェアテスト規格の教科書**」販売開始 (5/29リリース)
- Webアプリケーション開発等ソフトウェア開発全般を手掛ける**RSR社の全株式取得** (8/31リリース)
- 一般財団法人日本次世代企業普及機構ホワイト企業認定制度、ソフトウェアテスト専門企業初の「**ホワイト企業認定**」を取得 (10/1リリース)
- 「**ソフトウェア品質教育セミナー**」に2つの新コースを追加 (10/27リリース)
- 資格勉強アプリ「**テス友**」の全面リニューアルを実施し社内外のエンジニアの資格取得をサポート (12/15リリース)
- 非対面研修のニーズの高まりを受け「**テスト資格試験対策用eラーニング**」の提供開始 (12/21リリース)
- 『Referral Recruiting Award 2020』で「**優秀企業賞**」を受賞 (2/2リリース)

バルテスチャレンジ

3 新規技術開発への積極投資

- テスト自動化新サービス「**T-DASH**」の提供開始 (5/14リリース)
- 当社が運営するソフトウェア品質向上プラットフォーム「**Qbook**」を全面リニューアル (5/26リリース)
- テストケースを最短 0日で納品するサービス「**クイックテスト設計**」の提供開始 (10/6リリース)
- 「ソフトウェア品質教育セミナー」に2つの新コースを追加 (10/27リリース)
- セキュリティ分野に関する新事業である「**クラウド型 (SaaS 型) WAFサービス**」の開始決定 (1/26リリース)
- テストケースを最短 0日で納品するサービス「**クイックテスト設計**」に新プラン追加 (3/2リリース)
- テストケース生成ツール「**Qumias Plus**」の提供開始 (3/10リリース)
- 京都工芸繊維大学との産学提携プロジェクトによる**共同研究論文**を発表 (3/31リリース)

4 アフターコロナへの挑戦

- テレワーク開発を支援する「**在宅テストサービス**」の提供開始 (4/10リリース)
- 「ソフトウェア品質教育セミナー」のオンライン提供開始 (4/30リリース)
- 日本マーケティングリサーチ機構によるブランドイメージ調査にて、**3部門でNo.1**を取得 (7/29・31、8/4リリース)
- 「Qbook」内にて無料eラーニングサービス「**Qbookアカデミー**」の提供開始 (9/30リリース)
- 「サイバーリスク保険付帯の脆弱性診断サービス」の提供開始 (東京海上日動火災保険株式会社との協業) (10/14リリース)
- 資格勉強アプリ「**テス友**」の全面リニューアルを実施し社内外のエンジニアの資格取得をサポート (12/15リリース)
- 非対面研修のニーズの高まりを受け「**テスト資格試験対策用eラーニング**」の提供開始 (12/21リリース)

2022年3月期 業績見通し



成長戦略の更なる強化により**コロナ禍でも売上、利益続伸へ**

(単位：百万円)

	2021/3期		2022/3期		
	前2Q累計 実績	通期実績	当2Q累計 予想	当期予想	前期比
売上高	2,413	5,262	2,943	6,451	+22.5%
営業利益	136	344	108	464	+34.8%
売上比	5.6%	6.6%	3.7%	7.2%	+0.6pt
経常利益	138	347	109	468	+34.9%
売上比	5.7%	6.6%	3.7%	7.3%	+0.7pt
当期純利益	87	246	70	305	+23.6%
売上比	3.6%	4.7%	2.4%	4.7%	+0.0pt
EPS (円)※	12.60	35.65	10.25	44.08	+23.6%

※1株当たり当期純利益（当期純利益÷期中平均株式数）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

ソフトウェアテストサービス事業

- デジタルトランスフォーメーション（DX）加速によるエンタープライズ領域のソフトウェアテスト需要を取り込み、下期、来期への売上拡大へ
- インフラ系や決済サービス系などの拡大を見込む
- 上期はこれまでと同様に採用と教育研修に力を入れ、人材投資を促進し、下期偏重の売上に対応すべく体制強化へ
- バルテスメソッドを学んだ社員で安定した品質を維持し、ビジネスパートナー活用により案件ボリューム拡大による売上拡大を目指す

Web/モバイルアプリ開発サービス事業

- 脆弱性診断×WAF（サービス展開予定）でセキュリティ需要を取り込み売上拡大へ
- VMT×RSRでエンジニア不足を補い、営業体制の変更により、更なる開発案件獲得へ

オフショアサービス事業

- バルテスを窓口とした日本企業との取引拡大により各四半期で安定した売上へ
- ロックダウンの状況下においてもテレワークにより安定稼働を維持しつつ、増加する案件対応のためにオフィスを増床し、中途採用及び協力会社活用を進め、稼働人数を拡大

DX進展や巣ごもり需要に関連する分野のテストニーズは引き続き増加を見込む。 一方、前期同様コロナ禍で影響を受ける分野も

エンター
プライズ系



直近は企業のIT投資が抑制されると推測されるものの、DXの進展による基幹システムの入替え需要等は引き続き顕在。**開発案件の相談**も入ってきており、**9月のデジタル庁の創設による動き**なども含め、エンタープライズ系のテストサービスのニーズは、今後も堅調に推移する見込。

Webサイト・
モバイルアプリ



企業内で利用される**クラウドサービス**の開発ニーズや**EC**等、一般消費者のネット行動の活発化に関連したサービスの開発ニーズが増加し、比例して同分野のテストサービスニーズも引き続き堅調に推移する見込。

組込み系



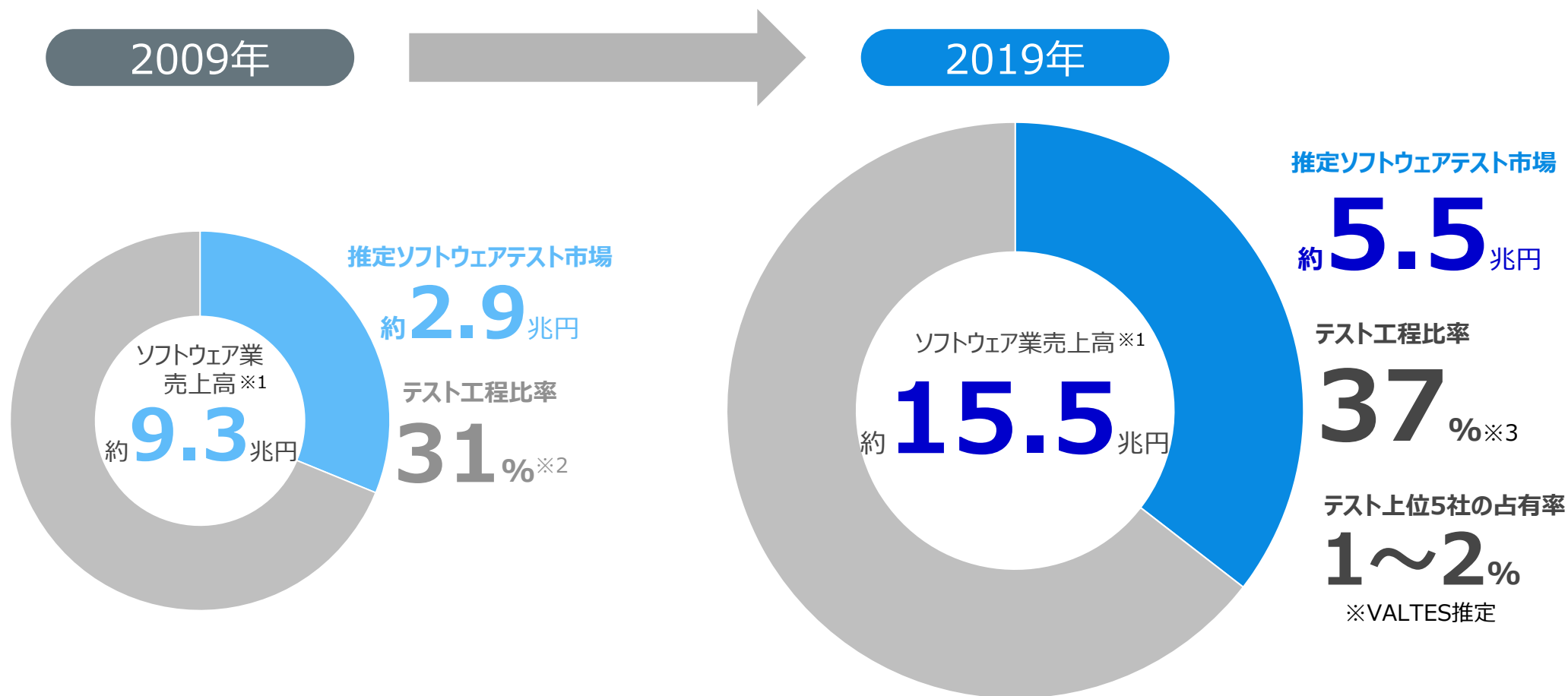
医療系や車載関連やIoTのニーズは引き続き高く、今後も拡大は続く見込。しかし総合的には**コロナ禍の影響を一番受ける分野**。各種メーカー系の状況改善がまだ見られず、下降傾向は続くと推測。

ソフトウェア事業環境



当社が推定する日本のソフトウェアテストの市場規模は約**5.5兆円**

ソフトウェア業売上高に占めるテスト工程比率の推移と市場規模推計



※1 総務省・経済産業省「情報通信業基本調査」より

※2 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発データ白書」より

※3 独立行政法人情報処理機構（IPA）「ソフトウェア開発分析データ集2020」より

ソフトウェアテストはソフトウェア開発企業から**テスト専門企業**へ

ソフトウェア開発企業の悩み

- コストが高い開発担当者の労働時間の約4割がテスト・検証に割かれる
- テスト・検証は開発者のモチベーションが上がらない為、非効率
- 開発者自身がテスト・検証を行うのは客観性が無く信頼性に欠ける

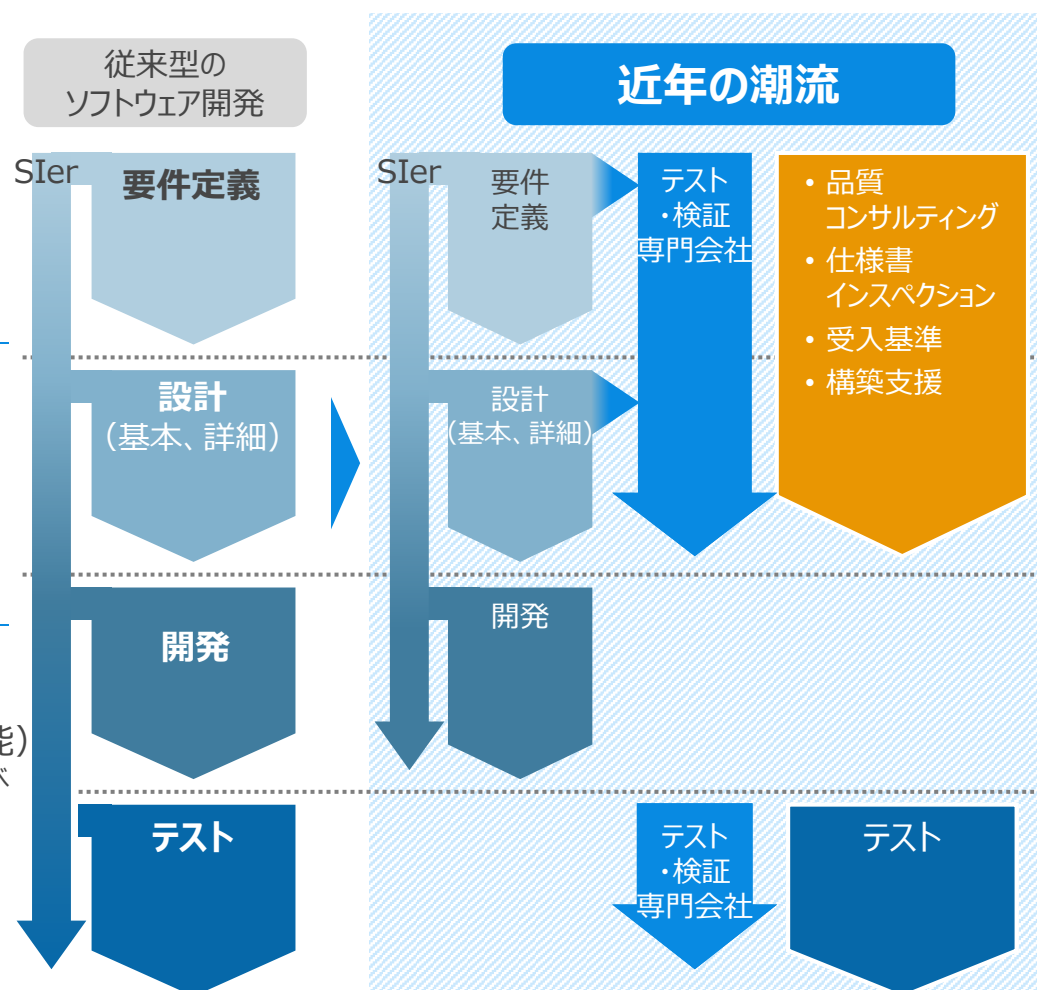
テスト工程がアウトソースされなかった理由

- 日本では大手SIerが案件を一括受注し、傘下の下請け・孫請けに発注している状況で、開発エンジニアがテスト工程まで行う構造であった

テスト工程のアウトソース化が加速！

- 開発担当者によるテスト時間の短縮により、開発コストが減少
(開発担当者がテストを実施する場合の※**60%~70%程度**で対応が可能)
※自社調べ
- 再現性・共有性の高いテストの方法論が確立（各社独自のメソッド）
することで**網羅的で高効率**なテストが実現可能に
- 第三者のテスト専門会社によるテスト・検証の有効性が注目

ソフトウェア開発の業務フローの変遷



「デジタル庁の創設」や「コロナ禍で進んだ社会の変化」により、**DXが加速**

デジタル庁の創設

- ▶ 国・自治体のシステムの統一
- ▶ 行政のオンライン化
- ▶ 品質意識の向上(コロナ禍での不具合続出)

コロナ禍で進んだ社会の変化

- ▶ テレワークの定着
- ▶ EC消費の定着
- ▶ オンラインコミュニケーションの定着
- ▶ 余暇時間の増加

デジタルトランスフォーメーション (DX) 加速

2. セキュリティリスク増

セキュリティサービス
需要の増加

1. ソフトウェア開発

エンタープライズ領域の
ソフトウェアテスト
需要の増加

3. 人材不足

人材不足を解消する
手立てがカギ

今後の成長戦略



重点領域であるエンタープライズ領域が堅調に成長

市場環境

基幹システムの老朽化により、デジタルトランスフォーメーション（DX）が進まなければ、経済損失が最大年間12兆円とも

出所：2018年「DXレポート～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～」経済産業省

デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展

- ①長期使用による基幹システムの老朽化
- ②大容量高速通信時代の到来

エンタープライズ領域でのニーズ増加

国内エンタープライズIT市場規模

2024年 **12兆7,665億円** (CAGR3.4%)

IDC Japan「国内エンタープライズIT市場規模の予測」

特徴

- 単価 **高** 案件規模 **大** 契約期間 **長**
 - システム開発、業務知識など、テスト以外の知識が求められる
- 難易度 高**

テスト工程の周辺市場との比較 ■ 当社の事業領域

	潜在市場規模	市場ステージ	参入障壁
テスト工程市場	エンタープライズ系	巨大	黎明期
	組込み系	大	黎明期
	Web・スマホ系	中	成長期
	エンターテインメント系	小	成熟期

当社の優位性

• 経験豊富な **ハイレイヤーの採用**



• エンタープライズ領域に強い人材を供給可能な

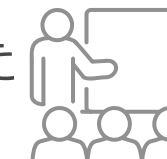


外部協力会社との取引拡大

• 長年蓄積された質、量ともに豊富な **当社のテストノウハウ**

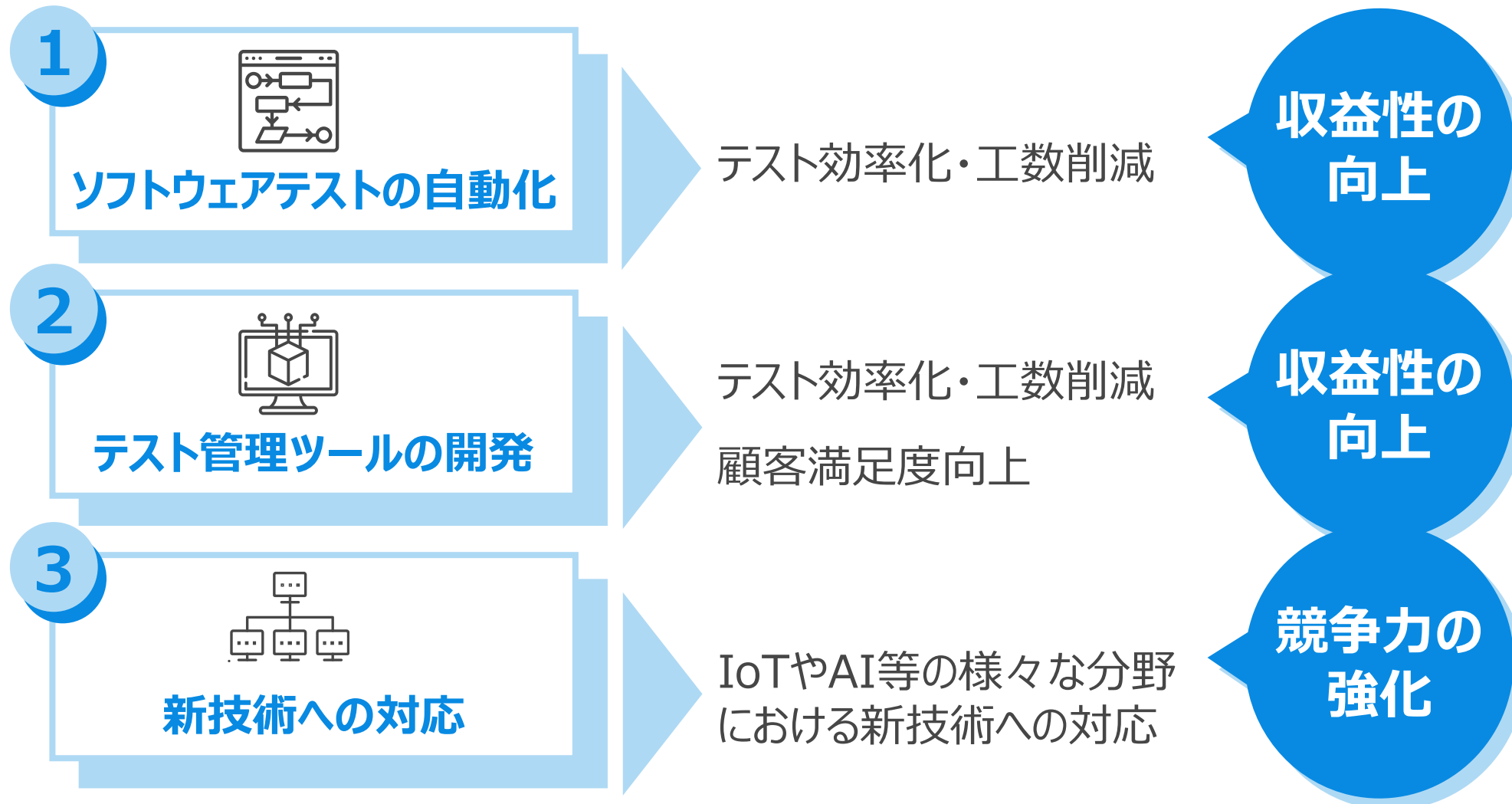


• テストノウハウをプログラム化した実践的な研修を **全員が受講**



• **上流工程**からの品質支援ニーズに対応

内部留保とのバランスを意識しつつ、新技術の開発に**積極的に投資**



既存サービス「セキュリティ・脆弱性診断」で顕在化したリスクへの対応にも有効的なクラウド型（SaaS型）WAF※サービス

※WAF : Web Application Firewallの略



■ 特徴

Web アプリケーションの脆弱性を突いた攻撃から Web サイトを守るためのセキュリティ対策を行うクラウド型（SaaS型）システム。

一般的なセキュリティ対策システムとは異なり、データの中身をアプリケーションレベルで解析できるのが特徴で、金融系サイトや ECサイトなど、幅広いWebサイトにおけるセキュリティ対策を実施可能。

■ 日程

2022年3月期に販売開始予定

脆弱性診断×WAF でセキュリティ対策を徹底サポート

教育体制の充実を図り、優秀な人材確保の**更なる強化**

新卒
未経験者



キャリア



オンライン
教育体制



多様な採用チャンネルで、**正社員**エンジニア採用数**136名**！（2021年3月期）

充実した社内研修システムによる**早期の安定稼働に**
コロナ禍でオンライン研修へ移行後も、**高スキル人材の輩出を実現**

320時間

160時間

成長戦略に必要な優秀な人材の確保

JSTQB保有率 **92%以上***

*入社2年目以降の正社員取得率

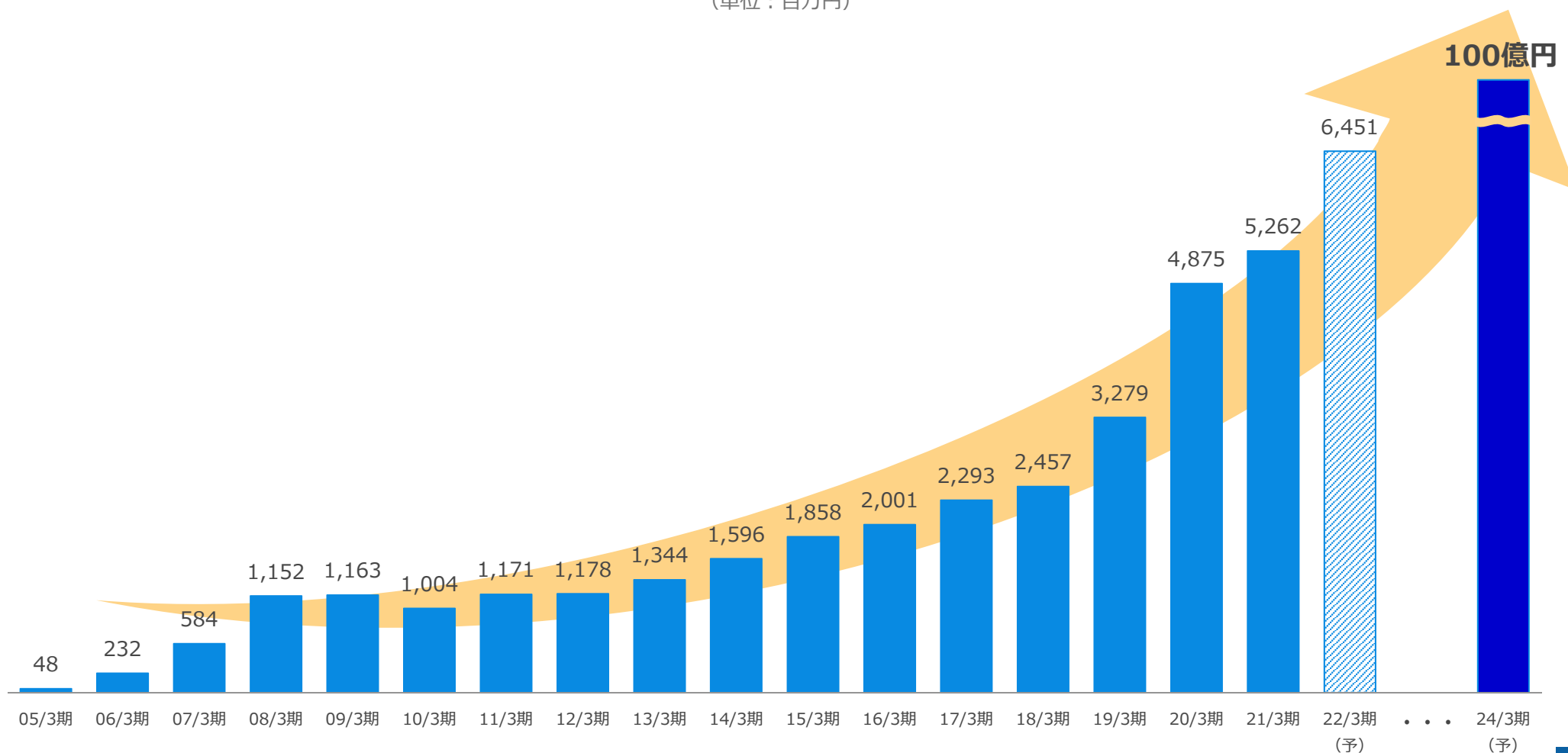
日本初のグローバルパートナー



ソフトウェアテスト市場の成長から、2024/3期に売上高**100億円**を目指す

売上高の推移

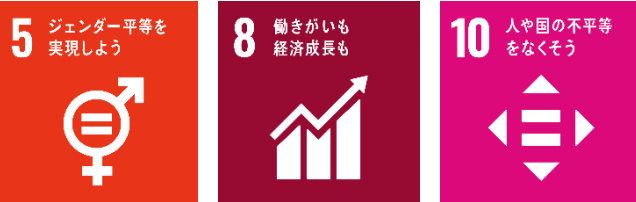
(単位：百万円)



働きやすい環境の整備

IT人材の創出

技術革新の拡大を図る



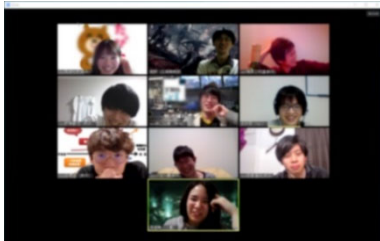
- 男性育休制度導入
- 働き方改革
- ホワイト企業認定
- 抗原検査キット「I Check」を従業員に無料配布
- パートナーシップ制度の導入



【社員インタビュー】男性社員の育休取得実績



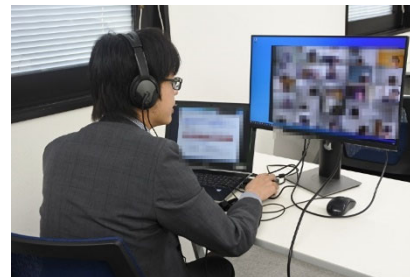
▲育休実績のある男性社員のインタビュー記事を、社内でも積極的に展開し、取得を推奨



▲オンライン懇親会制度などを設けて在宅勤務社員のフォローも実施



- 充実した社内研修システム
- 当社のソフトウェアテストノウハウを生かした資格支援サービスの提供
- ソフトウェアテストに関する技術書籍の出版
- ソフトウェア品質向上プラットフォーム『Qbook』の運営
- テスト技術をゼロから学べる無料eラーニングコンテンツの公開



▲未経験者は2カ月、経験者でも1カ月の入社時研修を実施



- 京都工芸繊維大学との共同研究論文を発表
- ソフトウェア製品の品質確保のために世界中の企業とパートナーを組むことで目標達成を実現

安心・安全なまちづくり



- ソフトウェア製品のテストを実施し品質を確保することで、安心・安全なICT社会を実現

2021年3月期決算補足



	2020/3期		2021/3期			
	(百万円)	売上高比 (%)	(百万円)	売上高比 (%)	前年同期比増減 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	4,875	100.0	5,262	100.0	+386	+7.9%
売上原価	3,533	72.5	3,829	72.8	+295	+8.4%
労務費	2,110	43.3	2,685	51.0	+574	+27.2%
外注費	1,169	24.0	956	18.2	▲213	▲18.3%
その他	253	5.2	188	3.6	▲65	▲25.8%
販管費	1,020	20.9	1,087	20.7	+67	+6.6%
人件費	468	9.6	468	8.9	▲0	▲0.0%
採用費	172	3.5	173	3.3	+1	+0.9%
研究開発費	57	1.2	71	1.4	+14	+24.5%
その他	322	6.6	373	7.1	+51	+16.1%

バランスシートの状況

(単位：百万円)

	2020/3 期末	2021/3 期末	前期末差
資産の部			
現金及び預金	996	1,190	+194
受取手形及び売掛金	690	727	+36
流動資産合計	1,746	2,019	+273
有形固定資産	119	101	▲17
のれん ^(※1)	-	68	+68
ソフト+ソフト仮	28	133	+105
無形固定資産合計	28	202	+174
投資その他の資産	196	218	+21
固定資産合計	343	522	+178
資産合計	2,089	2,541	+451

	2020/3 期末	2021/3 期末	前期末差
負債の部			
買掛金	125	115	▲10
短期有利子負債	113	146	+32
未払金	263	339	+76
流動負債合計	831	958	+126
長期有利子負債 ^(※2)	-	76	+76
固定負債合計	11	84	+72
負債合計	843	1,042	+199
純資産の部			
株主資本合計	1,244	1,494	+249
純資産合計	1,246	1,498	+252
負債純資産合計	2,089	2,541	+451

※1,2：RSR社を連結子会社とした影響

(単位：百万円)

	2020/3期	2021/3期	
			前年同期比
営業CF	246	291	+45
税金等調整前当期純利益	317	347	+30
売上債権の増減	▲170	▲19	+151
仕入債務の増減	52	▲13	▲65
法人税等支払額	▲87	▲119	▲32
投資CF	▲81	▲93	▲12
有形固定資産取得	▲56	▲8	+48
無形固定資産取得	▲22	▲118	▲96
FCF※1	164	198	+33
財務CF	538	▲4	▲542
有利子負債増減	▲66	+0	+66
自己株式の処分による収入	603	-	▲603
現金及び現金同等物の期末残高	976	1,170	+193

※1：FCF（フリー・キャッシュフロー）は、営業CFと投資CFの合算値

ご留意事項

本資料には、当社グループの現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
これらの将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予想したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素により、この計画・予想などとは異なる場合があります。
この資料は、その実現を確約したり、保証するものではありません。
なお、この資料への公認会計士、監査法人の関与はございません。

Appendix

会社概要



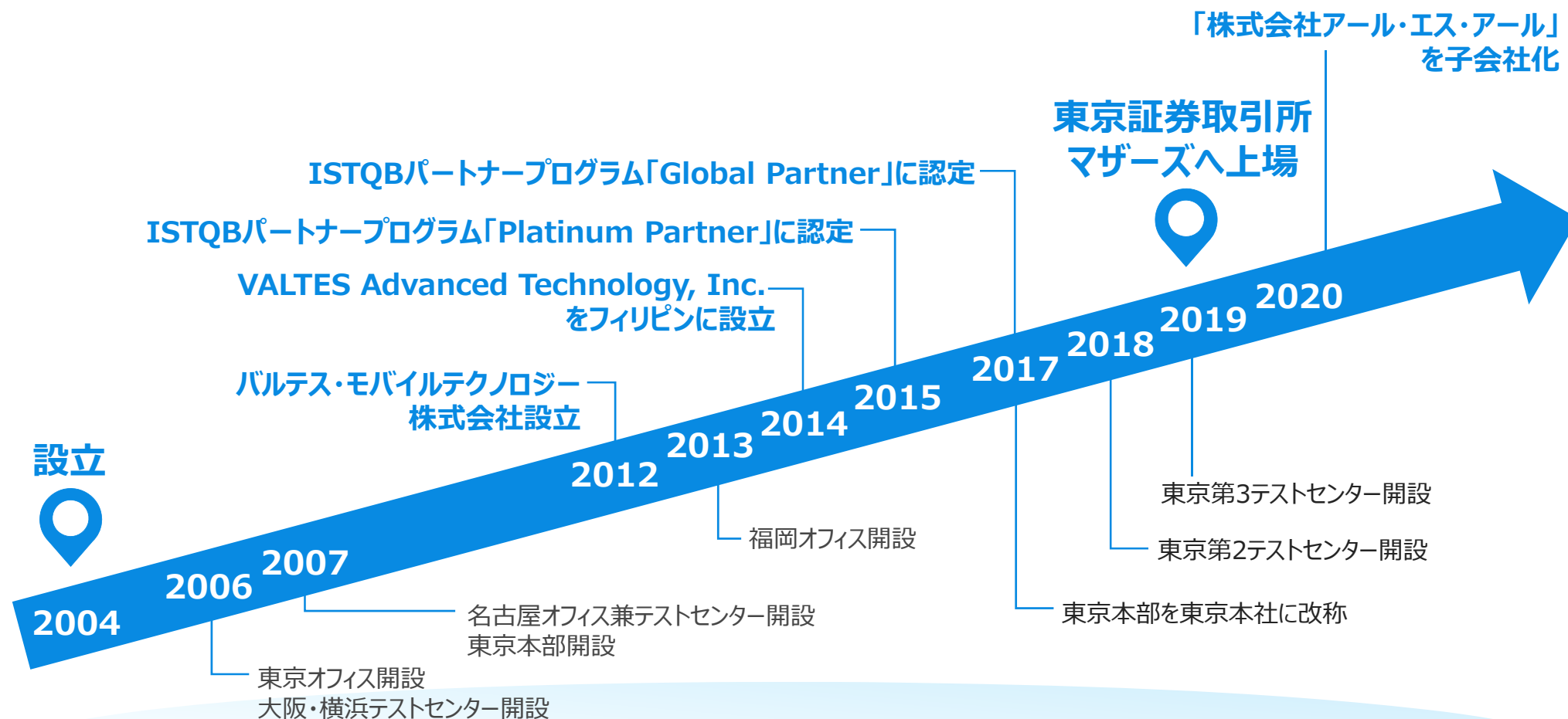
「品質向上のトータルサポート企業」を経営方針に掲げ、事業を展開

会社名	バルテス株式会社
会社設立	2004年4月
上場	2019年5月（東証マザーズ 証券コード：4442）
本社住所	大阪市西区阿波座1-3-15（大阪本社）
事業内容	ソフトウェアテストサービス 品質コンサルティングサービス ソフトウェア品質教育サービス セキュリティ・脆弱性診断サービス
子会社	バルテス・モバイルテクノロジー株式会社 株式会社アール・エス・アール VALTES Advanced Technology, Inc. (Philippines)
従業員数	646名（2021年3月末 グループ4社計）
内、総エンジニア数	573名（2021年3月末 グループ4社計）
総資産	2,541百万円（2021年3月末 グループ4社連結）

※ 2020年8月に株式会社アール・エス・アールの全株式を取得し、子会社化

2004年4月、設立。ソフトウェアの品質に関わるサービスを提供。

ソフトウェアテスト専門会社として、**年間2,100件以上のプロジェクト実績を誇る**



社名の由来

Value created through Testing



「テストを通じて価値を創造する会社」という意味が込められています。

グループスローガン

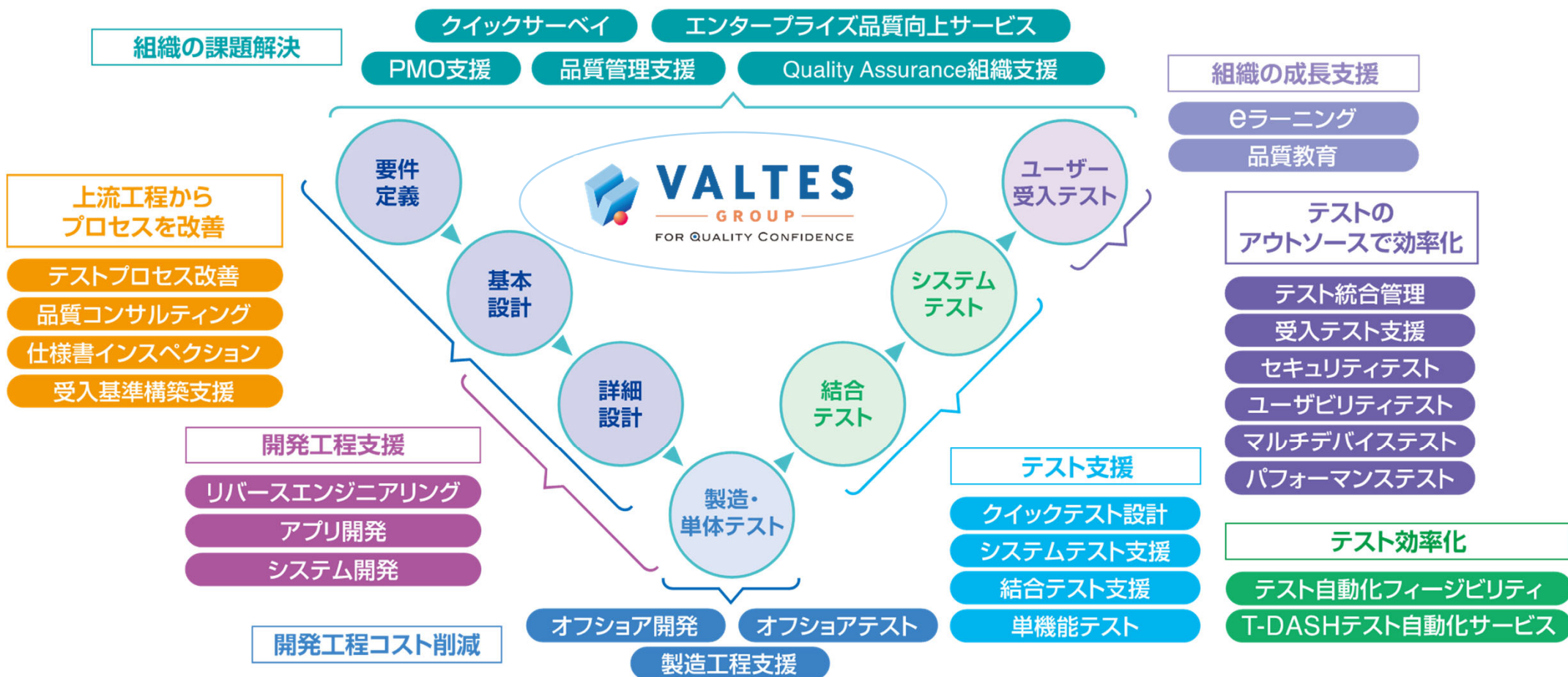
VALTES

FOR QUALITY CONFIDENCE

VALTES for Quality Confidence に込めた想い

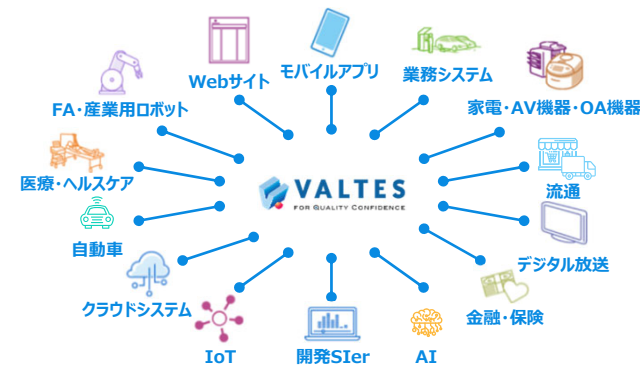
「お客様の品質に対する自信を揺るぎないものにしたい」
技術を磨き続け、品質向上に貢献し、より良い製品で社会を豊かにする。
バルテスグループは、ソフトウェア品質のさらなる高みを目指し続けます。

ソフトウェア開発の全工程で、ソフトウェア品質の向上支援サービスを提供



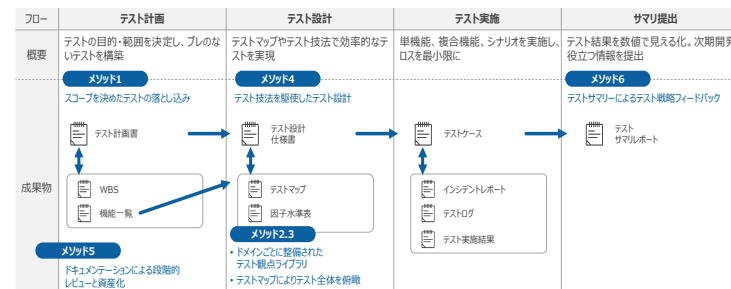
豊富な実績

- ▶ 年間2,100プロジェクト、600社以上の導入実績
- ▶ 業種毎の豊富なテスト観点



標準化・プロセス

- ▶ IEEE※1829※2準拠テンプレート
- ▶ バルテスメソッド (テストの進行基準)
- ▶ 標準化されたテスト設計手法による
抜け漏れ・誤認識を排除



高スキル エンジニア

- ▶ エンジニア適正試験
- ▶ 独自の研修カリキュラムによる早期戦力化
- ▶ JSTQB※3保有率 92%以上！
(2018年10月時点の入社2年目以降の正社員)
- ▶ ISTQB※4 Global Partner
※全世界8社のみ、**日本初!**



※1 : IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) とは、米国に本部を置く、電気・情報工学分野の学術研究団体、学会、技術標準化機関のこと
 ※2 : IEEE829とは、テスト工程で作成するドキュメントの定義のこと
 ※3 : JSTQB(Japan Software Testing Qualifications Board)とは、国内のソフトウェアテスト技術者認定組織のこと
 ※4 : ISTQB(International Software Testing Qualifications Board)とは、世界130か国のテスト技術者認定組織のこと

